平成 19 年 7 月 31 日

定期検査中の２号機原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

定期検査中の２号機において、平成 19 年７月 30 日午前 11 時 47 分頃、原子炉建屋地下２階（管理区域）にある低電導度廃液＊１サンプピット＊２（堰）へ水が流入したことを示す警報が発生したため、当直員が現場を調査したところ、サンプピット内に水が溜まっていることを確認しました。

溜まった水を測定した結果、約 75 リットル、放射能量は約 2.0×10^{7} ベクレルであることがわかりました。

水はサンプピットの堰内にあり、ピットの外には出ていないことを確認し、同日、仮設ポンプを使って回収し、サンプピット内の清掃を実施しております。

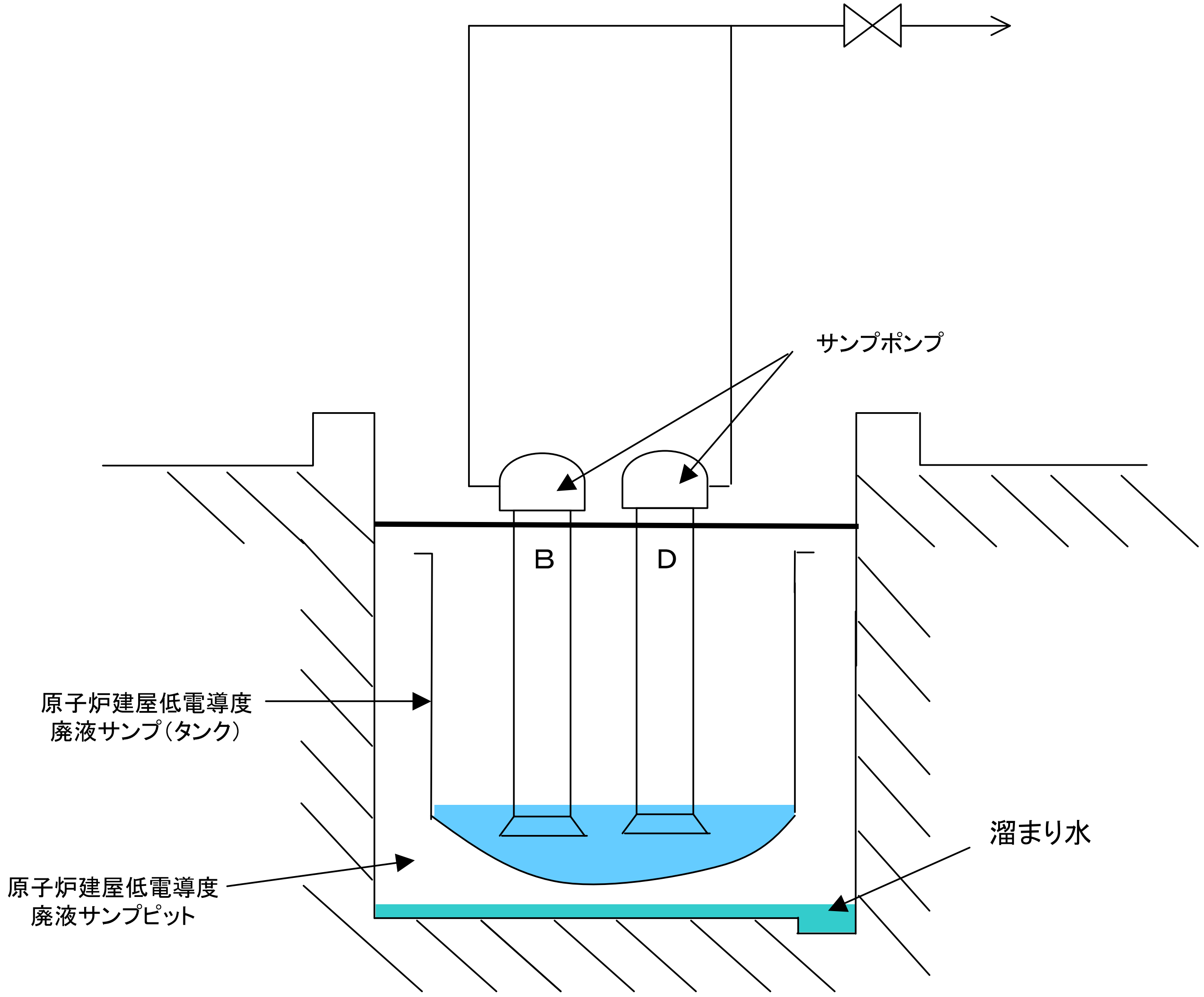
今後、原因について詳細に調査します。

なお、これによる外部への放射能の影響はありませんでした。

以　上

＊１：低電導度廃液
各建屋内の機器からの排水、試料採取の廃液等。

＊２：サンプピット
廃液を受けるタンク周りに設置された堰（せき）。



原子炉建屋低電導度廃液サンプ　概略図